

出雲市立四絡幼稚園 P T A の実践

1 出雲市立四絡幼稚園 P T A の特徴

- ・四絡地区は出雲市の中央部に位置し、近年になり商業施設や住宅が増え、都市化が進んだ。そのため、自然環境が少なくなり、子どもを安心して遊ばせる場が限定的である。
- ・園全体の約9割が核家族である。県外からの転居者や外国にルーツのある家庭も増えたことにより、地域と関わる機会や気軽に相談できる人が少ないなど、子育てに対する悩みを抱えている保護者も増えている。

2 特色ある取組

(1) 取組の概要 (ねらい)

- ①愛育会活動や行事を通して、幼児期における人権教育について考え合い、会員一人一人の人権感覚・人権意識の高揚を図る。
- ②家庭と園、地域が連携し、互いに認め合ったり支え合ったりする、優しさあふれる組織を構築する。

(2) 取組の詳細

①「大好き♡よつがねウォーク」(親子ウォークラリー)

- ア ねらい 親子で四絡地域を散策し、地域の自然、施設、人を知ったり、親子での触れ合いを深めたりする。
- イ 期 日 年少・年中児：令和5年 5月31日(水) 年長児：令和5年 6月 1日(木)
- ウ 会 場 四絡地域(各年齢に合わせて範囲を設定)
- エ 内 容 保護者アンケートをもとに、教職員で行先を検討し、親子でウォークラリーを行う。四絡地域を巡り、各ポイントで出題されたクイズに答え、ゴールを目指す。



親子で街の散策



コミセンでのクイズ



大好きよつがねマップ
(保護者アンケートより作成)

【保護者の感想】

- ・いつもは車で通過するだけで、知っていても立ち寄る機会がなく、身近でありながら素通りしてしまっていた所を訪れ、新たな発見につながる一歩となりました。特に我が家は1年前に県外から引っ越してきたばかりなので、四絡地区を歩いて回れて良かったです。
- ・普段の散歩とは違い、友達や保護者の方々、先生とお話しながら歩くことでいつもの道も新鮮に映り、楽しむことができました。家庭での散歩やお出かけでも今回の活動を取り入れて、“四絡新発見！”したいと思います。
- ・親子で触れ合いのもてる内容で、他の保護者の方やクラスの友達とも触れ合える貴重な時間を過ごせました。私自身も子どもの新しい姿の発見や、四絡地区に愛着をもつことのできる良い経験となりました。

②「世界に一冊のMY絵本作り」・春よこい絵本展

- ア ねらい 自分なりに体験したことや考えたことを絵や言葉で表現しながら、親子で絵本作りを楽しむ。
- イ 期 日 【絵本作り】
令和5年11月16日(木)
令和6年 1月26日(金)
【春よこい絵本展】
令和6年 2月13日(火)～15日(木)
- ウ 会 場 四絡幼稚園
- エ 内 容 親子で絵本作りをする。絵本を「春よこい絵本展」で展示し、全園児で見合ったり、地域の人に公開したりする。



絵本作り



春よこい絵本展

③令和5年度 四絡幼稚園人権・同和教育研修会

- ア ねらい 講演会や保育公開を通して、会員一人一人の人権意識の高揚を図る。
- イ 期 日 令和5年 6月21日(水)
- ウ 会 場 四絡コミュニティーセンター
- エ 内 容 元池田診療所所長 長坂行博さんによる子育てに関する人権教育講演会
演題『奇跡の「いのち」を守るために～「幸福」について考えてみましょう～』



【保護者の感想】

- ・妊娠中は「とにかく元気で生まれてきてくれたらそれでいい。」と思っていたのが、生まれてからは「もっと離乳食、ご飯を食べてほしい。」「もっと言うことを聞いてほしい。」と段々と大人の勝手な欲が出てきてしまっているなど思いました。講演会を通して「今、元気に毎日生きていてくれる。それだけでいい。」ということが何よりも大切なことだと思ひ出させて頂きました。
- ・今ある命は当たり前のように当たり前ではないこと。奇跡の命なんだと思うとより子どもを愛おしく感じました。子どもの自己肯定感、幸福感を高めるには、自分自身が楽しく幸せに暮らすことも大切なんだと思ひました。

④ほっこりルーム（子育て座談会）

- ア ねらい
- ・保護者同士で子育てについて話（日頃の悩みや育児の楽しさなど）をしながら、保護者同士の親睦を図る。
 - ・我が子の良さを再認識し、一人一人の個性の違いを尊重し合える集団作りを目指す一助とする。
- イ 期 日 令和5年 5月26日(金)・6月30日(金)・
9月11日(月)・10月30日(月) 11月29日(水)
令和6年1月30日(火)・2月29日(木)
- ウ 会 場 四絡幼稚園
- エ 内 容 子育てに関する情報交換や保護者同士の交流をする。
また、子育てや幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報提供をしたりする。



(3) 取組を終えて（成果と課題）

- ・「大好き♡よつがねウォーク（親子ウォークラリー）」や「世界に一冊のMY絵本作り」などの行事を通して、四絡地域のことを知ったり、親子で触れ合う時間をもったりすることができた。子どもが興味関心をもっていることやその子なりの思いや考えに保護者も心を寄せ、一緒に見たり触れたりする姿が見られ、子ども理解に繋がったと考える。今後も家庭や地域との連携を大切にしながら、継続した取組に繋げていきたい。
- ・保護者が参加しやすい取組を考え、歌と語りを組み合わせた「人権・同和教育研修会」や「ほっこりルーム」などの事業を今年度初めて実施した。取組を通して、地域と関わる機会が乏しい、気軽に相談できる人が少ないなど、子育てに悩みを抱えている保護者が、人権について考え、子育てに向かう気持ちを新たにしたり、悩みや不安を解消できるような情報交換の場作りや保護者同士の関係作りにも繋がったりした。今後も園での子育て支援に継続して取り組んでいながら、保護者同士の繋がりがや親子の温かな関わりの中で、園と家庭が連携して子どもを育てていく活動や体制作りを工夫していく必要があると考える。